



5月28日(日)

## 農業への理解を深める 米フェスタ2017おいしい米づくりをトライ!

**田** 植え体験をとおして、米や農業への理解を深める「米フェスタ2017おいしい米づくりをトライ」が5月28日、丸山のふれあい交流田で開催されました。

毎年行われているこの催しは今年で30回目を迎え、J Aのあぐりキッズスクールのメンバーら約300人が参加し田植えを体験しました。

参加者は、約20アールの田んぼに1列に並び、丸山集落営農組合員の指導を受けながら、米子田植唄保存会の歌と踊りに乗せて、コシヒカリなどの苗を植えました。

田んぼの中央には、水面に映る大山の姿を模して古代米を植え、秋には紫の「逆さ大山」が浮かび上がる予定となっています。



▲指導を受けながら、植えていきます



▲田植唄に乗せて

## 6月1日(木) 実りの秋に向け献穀米を田植え 新嘗祭供御献穀斎田田植式

**宮** 中の新嘗祭に献上するお米「献穀米」を植える「新嘗祭供御献穀斎田田植式」が6月1日、小町の献穀斎田で行われました。

新嘗祭とは、毎年11月23日に天皇陛下が新米を天地の神に供え、収穫に感謝して食する宮中行事です。この新米を献上する農家は毎年各県から1名が選ばれており、今年是小町の遠藤光明さんが選ばれました。

田植の前に行われた神事では、遠藤光明さん夫妻のほか、関係者列席のもと、田植えの儀や玉串奉奠の儀が厳かに行われ、その後、会場を献穀斎田に移し、田植えが行われました。

遠藤光明さんは、「献穀米を作ることには人生最大の行事です。今までの農業の経験を活かして、質の良い米が献上できるよう、家族一丸となってしっかりと世話をしていきたい」と話しました。



▲苗を植える早乙女のみなさん



▲田植の儀で苗を植える遠藤光明さん

## 6月4日(日) 日頃の訓練の成果を披露 鳥取県西部消防ポンプ操法大会

**第** 59回鳥取県西部地区消防ポンプ操法大会が、6月4日鳥取県消防学校で開催され、伯耆町からポンプ車操法の部に第1分団が、小型ポンプ操法の部に第4分団が出場しました。

出場した分団員は、この日のために数か月間の練習を重ね、緊張感の張り詰める中、操法を行いました。競技の結果は、第4分団が準優勝、第1分団が6位。第1分団の田中啓太さんが優秀番員賞に選ばれました。

準優勝した第4分団は、7月2日に開催される県大会に出場します。県大会での活躍を期待します。



▲優秀番員を受賞した田中団員(右から2番目)



▲的めがけ放水をする第4分団仲田班長

### ポンプ車操法の部

- 優勝 江府町消防団 第1分団
- 準優勝 日南町消防団 日野上分団
- 第6位 伯耆町消防団 第1分団

### 小型ポンプ操法の部

- 優勝 日野町消防団 第1分団
- 準優勝 伯耆町消防団 第4分団